

2011年5月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

平成二十二年
度
第二回総会(通常)

H23.3.28

HP



三月二十八日(月)、午後七時三〇分より大阪東急インに於いて社団法人大阪北区歯科医師会平成二十二年度第二回総会(通常)が開催された。

多田義隆議長、矢追秀純副議長が着席し定刻に多田議長より開会宣言が行われた。佐々木常務理事より点呼の結果発表があり、現会員数一九〇名、定足数九五名、出席者三九名、書面表決六三名、委任状提出二十

三名、合計百二十五名で会の成立が報告された。

大浦副会長による開会のことばの後、議事録署名名人に一班守下雅美先生、五班中谷勝先生が指名された。

高麗会長が挨拶に立ち、「会員のご指導・ご協力のおかげで大過なく任期を終えることを感謝いたします。東北地方太平洋沖地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。当会としては、会員のご理解を得て、

先ずは一般会計から義援金を贈ることで被災地の復興に協力させていただきました。また、公益法人制度改革に対応すべく、事業計画、会計収支予算案を議事として上程していますので、慎重審議の上、ご決賜りますよう宜しくお願い致します。」と述べた。続いて来賓挨拶を天羽隆大阪府歯科医師会理事より戴いた。

報告事項の最初に物故会員および物故家族、東北地方太平洋沖地震の犠牲者に対し弔慰黙祷が行われ、平成二十二年度会務中間報告が大塚専務理事より、平成二十二年度福祉共済制度会務中間報告が森川理事よりされ、平成二十二年度会計中間報告が中谷理事、平成二十二年度福祉共済制度会計中間報告が森川理事より行われた。

続いて委員会報告として、



上田祐嗣選挙管理委員長より任期満了に伴う会長、監事選出についての説明が、法人設立三〇周年記念事業についての報告が黒川森夫準備委員長より行われた。次に、代議員会報告が石崎好洋代議員よりなされた。

議事に移り、第一号議案平成二十三年事業計画が大塚専務理事より、第二号議案平成二十三年一般会計収支予算案が三輪常務理事より一括上程され、出席者全員の挙手により可決された。引き続き第三号議案平成二十三年度特別会計収支予算の提案理由の説明が三輪常務理事、森川理事よりなされ、これも全員の挙手により可決された。

最後に、上田選挙管理委員長より、高麗誠紀会長、東郷達夫、奥野夏樹監事の無投票当選が報告され、当選証書の授与が行われた。その後、会長、両監事より挨拶があり、野口副会長の閉会のことば、多田議長の閉会宣言により閉会となった。

続いて、大阪府歯科医師会会保組合北区支部総会、大阪府歯科医師連盟北区支部総会が行われ、清光義隆府歯国保支部長、戎文彦府歯連盟支部長の留任が満場一致で確定した。

パノラマ

戦後の日本は欧米型の幸福感を否応なく取り入れ、目に見えるものがある物質的なものをどれだけたくさん持っているかが、幸福の指標とされるようになった。

でも、そこに本当の幸せなどはないということが多くの人が気づきはじめた。たまに海外に行き、外から日本の文化に触れたとき、目に見えないものを大切にする日本文化を再確認でき、繊細で気遣いのある日本が大切に感じてくる。

私たちの人生もそうだろう。誰かと出会うとき、その人に深く興味を持つに至るかどうかは、その人がどれほど目に見えないものを大切に生きているかだろう。精神的に満たされる事を欲しながら、物質的な事にとらわれている過渡期に、今あるのではないだろうか。物質的に恵まれていなかった過去にみながら幸せを求めた結果、現在このように精神的に満たされないものになってしまうとは皮肉である。

今こそ日本人の原点に立ち返り、思いやりのある温かな社会にしていきたいものである。(一)

論説

「最近の世界情勢から感じたこと」

副会長 木下秀人



私がチュニジアという国を意識したのは、二〇〇二年の日韓共催サッカーワールドカップの時である。この時、我が日本代表は一次リーグをベルギーとロシア、そしてチュニジアと対戦をし、上位二チームに与えられる決勝トーナメント進出の権利をかけて戦ったのである。そして一勝一分けで迎えた第三戦の相手がアフリカ代表のチュニジアであった。スタジアムはここ大阪の長居競技場。日本は引き分けでも決勝トーナメント進出が決まる試合であったが、見事二対〇で勝利を収めベスト一六に駒を進めたのである。

高い失業率や食品物価の高騰、大統領族の腐敗、政治的抑圧に反発したチュニジア国民による政変は他の周辺国家へ波及し世界経済に影響を及ぼしている。我々に直接関係するものとしては、原油高や金価格の高騰などではないか。今はインターネットにより一瞬で様々な情報が世界に伝わっていく。もちろんそれに対する恩恵も多く存在するであろうが、今回のような我々一般市民にはどうしようもない世界情勢不安や投機マネーの暗躍は一般生活のみならず我々歯科医院経営者にも影響を及ぼしている。

特に金属価格の変動は急激な変化が歯科医院経営を圧迫しているのではないかと。保険点数は六ヶ月ごとに見直されるようになっていくが高騰により患者側にも負担を強いてしまいい、ますますの悪循環を生む。

長年、口腔内充填物として慣れ親しんできた金属であるが、審美性や価格不安定性の両面からも新しい材料の開発を望みたいものである。

— 学術講演会 —

「インプラント再考」

H23.1.15

HP



一月十五日（土）、北区歯科医師会の学術講演会が開催されました。

昨年より、新年互礼会が土曜日に開催されるようになったことから、学術団体である北区歯科医師会として新年互礼会と同日の午後には学術講演会を開催しようという高麗会長の発案から今回実現しました。演者も高麗会長のご推薦で東京で御開業のオッセオインテグレーションセンター所長である小宮山彌太郎先生をお招きしました。招聘には、小宮山先生とは以前より御昵懇の学術部員である宮内先生に御高配を賜りました。

賛助業者も八社御協力をいただき、インプラント関係の材料が数多く展示され、小宮山先生の御講演の前に業者説明が行われました。小宮山先生には、一四時から「インプラント再考」というタイトルで約三時間御講演いただきました。途中の休憩は三〇分間設け、業者展示を十分にご覧いただくように配慮致しました。

講演会には、北区会員（五四名）のみならず他の支部（二九名）からも参加され、総勢七三名の先生方に聴講いただきました。

講演に先立ち、高麗会長より新年のご挨拶と学術講演会を新年互礼会と同日に開催できたことへの感謝の言葉が述べられました。引き続き学術部長の英保先生より新年のご挨拶と講師の御紹介がありました。

講演内容は、御自身のインプラント症例を紹介する形式ではなく、インプラント治療に携わっておられる先生方、これからインプラント治療を導入しようと考えておられる先生方へ警鐘を唱える内容でした。小宮山先生御自身、歯科医師、患者の味方であることから、特定のインプラント業者に對しては、語り口調は大変穏やかではあるものの歯に衣着せない、時には辛辣な言葉にも聞こえるハッキリとした意見を述べられました。何処のメーカーのシステムが最も良いかとの問いには、自分や家族の口腔内に応用するには、と考えるべきであり、インプラントシステムに必要なのは、確かな臨床成績を収めているという歴史が重要であると答えられました。なかでも、ブローネマルクシステムは、膨大な基礎実験と長期間にわたる臨床実験がなされたから今現在でもトラブルを起しにくい、最も信頼性のあるシステムであると断言されました。審美を最優先される昨今、新しいシステムに飛びつくとんでもないトラブルを引き起こす可能性があるので注意が必要であるとのことでした。最近のインプラント業者が提供する新しいシステムは、一年ほどの臨床実績で発売しています。その理由は、もちろん早く収益を得たいからに他ならないと嘆いておられます。

ブローネマルクは、患者にQOLの改善を提供し、歯科医師には有効な治療法を与え、また研究者には、莫大な量のテーマを与えました。すなわち、オッセオインテグレーションのインプラントであることから、歯科の分野の研究が活性化され、その結果、歯科関係業者には夢のような利潤を残し、莫大な恩恵を与えました。

最近増えてきているのが、業者主導型インプラント、歯科医師自己満足型インプラントと思うと述べられました。あまりにも科学を無視した臨床の横行、過去の文献からのデータに基づいた科学的な臨床をしなれば、また安易に簡略化した術式で応用すると必ず失敗します。「基本に忠実」が最も重要であると述べられました。

マスコミがインプラントを標的にすることから、歯科医師側からの反発もある反面、患者のインプラントに関する知識が増え、歯科界が成熟すると考えられています。インプラントをターゲットとしている輩として、ジャーナリスト、弁護士、税務署（国税局）、患者などが挙げられています。不確実な要素を持つ抜歯即時埋入インプラントは、ブローネマルクは推奨していません。治療期間の短縮などもあり、人類が失敗から学ぶのは、科学の領域である医学、歯学においてもそのとおり。ブローネマルク自身、試行錯誤を繰り返し、失敗症例から学んでいると強調されました。医学、歯学における失敗の場合は、患者の犠牲を伴います。時として、一生苦しめる場合もあるのです。調理人や、芸術家の失敗は他人（人）を傷つけることはありません。したがって、我々医療人の責任は大変重いのです。

メジャーでないインプラントシステムを用いた場合、数年後にアパットメントからトラブルを起こし、再製を余儀なくされた際、その部品はもう製造中止になっているという手に入らないことが多いといえます。再製をするために、フィクスチャーをも除去しなければならぬことがあることに憤りを感じておられました。ヤナセが取り扱っている外車の場合、どれだけ古い車種でも必ずパーツは揃えてあり、修理できるようになっています。これが企業の正當な姿勢であります。新しいインプラントを導入するのは確かに良いかもしれませんが、しかし長期間にわたり販売されるとは限らないと注意をうながされました。

ある患者さんから大変嬉しいお言葉を頂戴したといえます。「医者とは患者の命を救うが、歯科医師は患者のQOLを上げてくれますね」、「これまでの人生の中でさまざまな岐路があった。いろんな選択を迫られることに遭遇した。その中で、インプラント治療法を選択したのは、最も良かったことのひとつですよ。」我々インプラント治療を行う歯科医師にとって本当にありがたい言葉であると紹介されました。

確かにインプラント治療は、耐久性に優れた治療法の一つであり、開発者であるブローネマルクは、長年の研究と経験に基づいて裏付けされています。そこで、歯科医師は、インプラント治療は永久的な治療法であると認識（誤解）し、患者に提供しようとしているのではないのか？医療誘導という言葉がありますが、これは、それぞれの患者さんにとって最良の治療法を選択し提供するものであるにもかかわらず、インプラントがらみでは、歯科医師の利益のための医療誘導が横行しているように感じると仰います。天然歯を大事にせず、何でもかんでもインプラントによる治療法を選択し、気楽にインプラントに飛びつく歯科医師が増えています。それも、業者主導のコースを受講し、担当講師の言葉を真に受けて、注意深く考察もせずに足元しか見ていないインプラント治療を行っているのが現状のように感じます。インプラント治療後、数年持てばいいだろう。その後は患者のせいにすればいいと考えている歯科医師も少なくないとい嘆いておられます。長期的に安定する治療法であるにもかかわらず、そこまで責任を持たない歯科医師があまりに多いのではないのでしょうか。

ブローネマルクが、フィクスチャーは何ものにも触

税務申告説明会開催

H23.2.2

☑HP

二月二日（水）、午後六時より大阪東急インにおいて税務説明会が開催されました。

大西理事の司会のもと、まず高麗会長の挨拶で始まり、北税務署の森川宗昭署長の御挨拶の後、個人課税米田貴志第一統括官と資産

課税鬼塚秀幸統括官により（一）国税庁ホームページについて（二）e-TAXについて（三）誤りやすい事例（四）平成二十二年一度税制改正（五）資産税の留意事項についてくわしく説明して頂きました。

e-TAXについては、国税庁の重要課題として取り組んでおられ、会員の先生方の今後の利用をお願いされていました。

確定申告についての情報は、国税庁のホームページで提供しているので、ご利用して下さいとのことでした。参加者は二〇名でした。（常務理事・中川晴彦記）

府歯会員表彰



受章のつとば

11班 黒川 森夫

去る三月五日（土）、第二十四回代議員会の席上、昨年十月支払基金より厚生労働大臣表彰を受けたことにより府歯から改めて会員表彰を戴きました。

これもひとえに北区歯科医師会の方々のお力添えのおかげと心から感謝しております。ありがとうございます。

医療保険ゼミナール

H23.3.18

☑HP

三月一八日（金）、北区歯科医師会事務所において医療保険ゼミナールが行われました。

今回は、各種届出が必要な事項、また保険請求の誤りやすい事項などについて、会員の疑問に天羽先生をはじめとする医療保険部員が解答し、ディスカッションを行うという形で行われました。

会員からは多くの疑問が投げかけられ、ディスカッションも非常に活発に行われ、予定時間では収まりきれないほど盛り上がり、盛況のうちに会を終了いたしました。

（担当理事・岡田修二記）

今回の御講演を拝聴し、足元だけを見るのではなく、常に先を見据えた治療計画、インプラント治療が重要であると痛感させられました。（学術部員・六人部慶彦記）

平成23年度・北歯ゴルフ同好会春季コンペ成績

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	三宅 貴方	42	45	87	12	75	8
準優勝	中村 積夏	46	45	91	14	77	11
3位	樋口 彦文	48	54	102	24	78	22
4位	松井 重秀	45	44	89	8	81	
5位	矢追 純	45	45	90	9	81	
6位	吉田 皓仁	45	43	88	5	83	
7位	土岐 一	46	55	101	18	83	
8位	西川 亨	44	48	92	8	84	
9位	中谷 勝	58	62	120	36	84	
10位	野口 秀安	49	45	94	9	85	
11位	大塚 雄代	48	55	103	18	85	
12位	渡邊 森夫	49	49	98	12	86	
13位	黒川 隆志	56	55	111	25	86	
14位	田中 康哲	50	43	93	6	87	
15位	橋本 俊志	50	49	99	11	88	
16位	大塚 裕	49	50	99	9	90	
17位	向井 秀和	49	55	104	13	91	
18位	水沼 夫	58	63	121	30	91	
19位	橋本 收	50	49	99	7	92	
20位	溝上 平	56	57	113	20	93	
21位	吉川 司	50	56	106	12	94	
B B	高麗 誠	53	56	109	14	95	
B M	三浦 康宏	82	77	159	27	132	28

※北歯コンペは、同ネットの場合の順位はハンディ上位、年齢上位、女性上位の順で決定します。敬称略／順不同

北歯ゴルフ同好会春季コンペ
(東日本大震災チャリティコンペ)H23
4.10

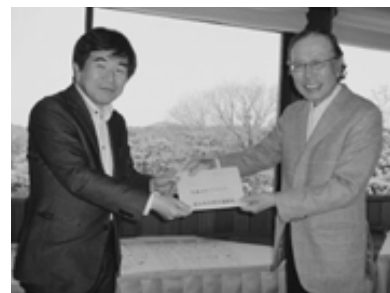
二〇一一年度北歯ゴルフ同好会春季コンペは、賞金総額を減額し、会食も自粛したお金で、東日本大震災の復興を支援するチャリティコンペになりました。

矢追先生のお世話により、西宮高原GCに於いて、桜の花が満開の中、晴天の中でのプレーとなりました。参加者はメンバー八名、ビジター五名の合計二十三名で、ビジターの三宅貴先生が見事に優勝、準優勝には医師会の中村積

方先生、三位は樋口夏彦先生という結果となりました。

懇親会の中で、長きにわたる北歯ゴルフ同好会を支えていただいた、故安田良三先生に対して黙祷を捧げた後、同好会からの義援金八万円と橋本会長から同額の義援金八万円、計十六万円が、高麗会長に手渡されました。

今回は、二〇月一日(土)に開催される大阪北区歯科医師会法人設立三〇周年記念式典の翌日の二〇月二日(日)に、



三〇周年記念コンペとして、伏尾GCを八組予約しております。同好会会員でない先生方も奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

(大塚俊裕記)

計報



安田良三先生(班外)

平成二十三年三月三日死去
御略歴

大正一〇年一月一日生

昭和一七年

大阪歯科大学専門学校卒

昭和二六年

北区にて開業

昭和五三年十一月

厚生大臣表彰

昭和四〇年～四四年

大阪府歯科医師会北区支部長

安田良三先生を悼む

11班 黒川 森夫

ことのほか春まだ遠い三月三日、突然の先生のご



逝去の報に一瞬耳を疑いました。

昨年三月の「みおつくしの会」に清子先生とご一緒に元氣に出席されていただけにこの上ない大きな衝撃を受けた次第です。

思えば私が入会しましたのは、先生が支部長をされていた昭和四四年二月で、以来四〇有余年にわたりご指導戴き、とくに私の支部長時代には常に会務への温かいお力添えと適切なご示唆を頂戴致しました。

総会時には、必ず二列目左端にお座りになり、無事終了するまで優しく見守って下さったお姿を今も思い出されます。

ゴルフをこよなく愛された先生は、八年前先生八二歳の春、北歯ゴルフコンペで、例の六〇インチの超長尺ドライバーを駆使され、見事優勝されたことも今となっては先生を偲ぶ思い出となつてしまいました。

昭和と平成の時代を通じて高いご見識のもと北区歯科医師会発展の礎となる幾多の御功績を思い、個々にも大所高所からご指導戴いたご恩に改めて感謝しながら先生ののご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

新入会員

7班・吉崎 恵忠

(朝日大・昭和六二年卒)



(診) よしざき 歯科

西天満五十二三二
東梅田レジデンス小島F
電 六三六〇一四六一八
F 六三六〇一四六一八

編集後記

東日本大震災にて、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、先生方のご協力のおかげで第二次高麗執行部での最後の「ほくし」も発行することができました。部員一同より御礼申し上げます。

【お詫び】

新年号の日の出の写真の撮影者氏名が未掲載でありました。東郷達夫先生のお作品でした。申し訳ございませんでした。